

市内でがんばる女性たち

平成27年に女性活躍推進法（女性の職業生活における活躍の推進に関する法律）が施行されたことをうけ、市では、平成29年、商工労政課内に女性活躍推進室を設置しました。女性の就労支援と市内企業の働き方改革・イクボス推進を行うとともに、男女がさまざまな分野で共に参画し、チャレンジや活躍ができる男女共同参画社会の実現を図るため、平成30年6月に「甲賀市男女共同参画を推進する条例」を制定し、女性活躍推進に取り組んできました。

これにより、「男は仕事、女は

家事・育児・介護」という性別による固定的役割分担意識の解消やワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の考え方が進み、市内のイクボス宣言登録企業数は県内1位となりました。（図1）

その反面、地域の女性参画状況は伸び悩んでおり、区・自治会役員の女性比率は県内でも低い状況にあります。（図2）

オール甲賀のまちづくりに、地域で、職場でがんばっている女性たちは欠かせない存在です。

市では、引き続き、さまざまな分野でがんばる女性を応援していきます。

図1 滋賀県イクボス宣言企業数

市町村名	登録企業数
1 甲賀市	51
2 大津市	38
3 長浜市	19
4 彦根市	18
5 東近江市	13

甲賀市は
県内トップ

図2 県内市町の自治会役員女性比率(R1)

市町名	自治会数	うち 女性代表等 自治会数	女性比率 (%)
大津市	720	211	29.3
草津市	219	54	24.7
守山市	71	16	22.5
栗東市	124	26	21.0
湖南市	43	7	16.3
野洲市	91	14	15.4
彦根市	327	33	10.1
近江八幡市	167	9	5.4
甲賀市	203	10	4.9
高島市	204	8	3.9
東近江市	389	9	2.3
長浜市	425	4	0.9
米原市	107	1	0.9
(支部計)	3,090	402	13.0

職場

チャレンジできる職場でキャリアアップ

株式会社ルピシア滋賀水口工場
総務部マネージャー 喜多 享子さん

私は、2011年にオープンングスタッフとして5時間の時短パートから勤務を始めました。その後、フルタイムパートになり、加工作業のリーダーを任されてきました。

市のワーク・ライフ・バランス推進事業のひとつ「イクボス推進ネットワーク」では、働き方改革、女性活躍、地域連携をテーマに市内企業の異業種間交流が行われています。

女性活躍をテーマにした第2回のセミナーでは、昨年度、本事業の「女子社員ネットワーク」に参加された、(株)ルピシアの喜多さんがオンラインで登壇され、社内での女性活躍への取り組みや自身のキャリアについてお話をいただきました。



▲オンラインで登壇された喜多さん



▲第2回セミナーの様子

数年後、正社員への転換の話をいただきました。当時は、子育てをしながら正社員として働く自信がなく、一度はお断りしましたが、滋賀水口工場は、従業員130人のうち8割が女性で、女性がチャレンジできる環境と、それをサポートする体制が整っていたことから、今後の自身のキャリアを考え、転換制度を利用し、正社員となりました。現在では総務部に配属されています。

リーダー就任当初は、パソコンの操作もわからず、戸惑うことも多くありましたが、周りの手厚いサポートのおかげで現在の私があります。

今後は、自身の経験を生かして、女性リーダーの育成や社員同士の横のつながり、そしてチームとして仕事ができる職場をめざし、女性社員のキャリアアップをサポートしていきたいと考えています。

地域

綾野自治振興会

「あやの女子部まちかつ事業」

綾野自治振興会では、女性のまちづくり参画を目的に、「あやの女子部まちかつ事業」を発足しました。

この取り組みは、女性の視線を生かしながら、地域課題に向けた活動のスキルを学び、地域における女性の参画をめざすものです。

9月12日に開催された第1回では、綾野学区在住を含むメンバー6人が、活動の方向性など、和やかに意見交換を行いました。



▲第1回の意見交換の様子

今後月1回のペースで、女性の目線から見た「防災」「東海道」等まちの課題発掘や魅力発信について活動を展開していきます。

綾野自治振興会

池田事務局長

今は、女性スタッフが少なく、少しでも地域の女性の皆さんに参画いただけたらと思い「あやの女子部まちかつ事業」を発足しました。

「まちづくり」は固いイメージがあるかもしれませんが、みんなが楽しくしゃべりながら、女性のパワーで地域を盛り上げていけたらと思います。



希望ヶ丘学区まちづくり協議会

「子育て×地域活動×我が事・丸ごと」

希望ヶ丘学区まちづくり協議会では、学区内での子育て支援として、にこにこサークル事業（参加者年間延べ1,000人）を実施し、子育て世代同士の交流や情報交換等を行っています。

7月からは、希望ヶ丘防災コミュニティセンターで、にこにこサークル事業への参加者による「新たなまちづくり活動」として、学区の全世帯に配布する行政文書・チラシ等の仕分け作業を行っていただいています。

この活動には、就園前の小さな子どもたちがお母さんと共に来られます。学区の規模が



▲行政文書やチラシの仕分け作業の様子

大きいこともあり、お母さんたちにとつて量が多く仕分け作業は大変ですが、子どもたちには、お母さんが活動をしている姿を見て何かを感じ取ってもらえればと思っています。

仕分け作業は、地域における小さな活動の一つかもしれませんが、こうした活動の積み重ねが地域内のつながりやまちづくり活動の支えになると考え、さらに広がっていくことを期待しています。

希望ヶ丘学区まちづくり協議会

山本事務局長

地域共生社会をめざし、女性の活躍をテーマとして捉えず、地域全体の関わりをめざした活動です。一人も漏らさない地域共生社会の実現をめざして学区の「我が事・丸ごと事業」の一環として、学区全戸への区長配布等と共に女性の活躍を支援する活動にも取り組んでいます。